

財務諸表から算出される各種指標（令和6年度一般会計等決算）

一般会計等決算の主な財政指標					
【資産形成度】		R6	R5	増減	平均値 (R5)
将来世代に残る資産はどれくらいあるのか	① 市民1人当たり 資産額	1,787千円	1,773千円	+14千円	1,492千円
	資産合計 ÷ 令和7年3月31日現在の住民基本台帳人口 (233,020人)				
	② 市民1人当たり 事業用建物額	433千円	430千円	+3千円	283千円
	事業用資産建物（減価償却累計額含む。） ÷ 令和7年3月31日現在の住民基本台帳人口 (233,020人)				
③ 歳入額対資産比率	3.6年	3.6年	±0年	3.1年	
資産合計 ÷ 歳入総額（収入合計+期首歳計現金残高） 資産合計が歳入の何年分に相当するかを表し、資産形成の度合いを把握することができます。 ※ 年数が多いほど社会資本整備が進んでいます。					
④ 有形固定資産減価償却率	67.9%	67.2%	+0.7ポイント	66.1%	
減価償却累計額 ÷ （有形固定資産合計－土地等の非償却資産＋減価償却累計額） ※ 比率が高いほど、資産の取得から年数が経過しています。					
【世代間公平性】		R6	R5	増減	平均値 (R5)
将来世代と過去及び現世代との負担の分担は適切か	⑤ 純資産比率	80.1%	79.8%	+0.3ポイント	68.9%
	純資産合計 ÷ 資産合計				
	⑥ 将来世代負担比率	8.5%	8.1%	+0.4ポイント	18.5%
	（地方債残高（臨時財政対策債等を控除後）） ÷ 有形無形固定資産				
【持続可能性】		R6	R5	増減	平均値 (R5)
財政に持続可能性があるか（どれくらい借金があるか）	⑦ 市民1人当たり 負債額	355千円	359千円	△4千円	447千円
	負債合計 ÷ 令和7年3月31日現在の住民基本台帳人口 (233,020人)				
	⑧ プライマリーバランス	+26.0億円	+43.4億円	△17.4億円	+37.6億円
	業務活動収支（支払利息を除く。） + 投資活動収支（基金積立金及び取崩収入を除く。） 地方債の元利償還金及び基金積立金を除いた歳出と、地方債発行収入及び基金取崩収入を除いた歳入のバランスを表します。				
【効率性】		R6	R5	増減	平均値 (R5)
行政サービスは効率的に提供されているか	⑨ 市民1人当たり 行政コスト	385千円	377千円	+8千円	392千円
	純行政コスト ÷ 令和7年3月31日現在の住民基本台帳人口 (233,020人)				
【自立性】		R6	R5	増減	平均値 (R5)
歳入はどれくらい使用料等で賄われているか	⑩ 受益者負担比率	4.9%	5.1%	△0.2ポイント	4.6%
	経常収益 ÷ 経常費用 経常的な行政サービスに対して、受益者負担分の割合がどの程度かを表します。 他市平均値と比較し、松本市は受益者負担の割合が多くなっています。 ※ 比率が低いほど、市税等の一般財源や補助金でその費用を賄っていることとなります。				

注) 平均値 (R5) は、中核市のうち、統一の基準で財務書類を作成し、公表している52市について、本市が独自に算出した値